

本書から国試で予想問題と同じ設問や 選択肢が多数出題されています！

第27回柔道整復師国家試験問題（午後問題）

問題 89 膝関節脱臼で正しいのはどれか。

国試
出題例

1. 前方脱臼は過度の屈曲が強制され発生する。
2. 後方脱臼はダッシュボード損傷で発生することが多い。
3. 外側脱臼は下腿が内旋する。
4. 内側脱臼は完全脱臼となる。



『絶対出る！柔道整復師国家試験重要問題
柔道整復学 下肢・総論編 (p.65 より抜粋)』

予想問題の解説を読むと
その詳細が記載されており、
理解が深まります！

(3) 膝関節脱臼

ポイント● 分類・特徴

予想問題 1-17

外傷性膝関節脱臼で正しいのはどれか。

1. 十字靭帯の損傷を合併することはない。
2. 前方脱臼はダッシュボード損傷で発生する。
3. 膝窩動脈損傷を伴うことが多い。
4. 側方脱臼が最も多い。

1) 前方脱臼

ポイント● 分類・特徴

予想問題 1-18

膝関節前方脱臼で誤っているのはどれか。

1. 膝関節が過伸展され発生する。
2. 不全脱臼になることが多い。
3. 総腓骨神経の損傷により足関節背屈力が低下する。
4. 足背動脈の拍動が消失する。

1. 膝関節脱臼は強力な外力が働き、十字靭帯や側副靭帯が断裂し発生する。
2. ダッシュボード損傷による受傷では、膝関節屈曲位で脛骨近位端に前方から強い外力を受けて発生するため、後方脱臼となる。
3. 脱臼により転位した大腿骨遠位端部や脛骨近位端部の後面が、膝窩部を走行する膝窩動脈や脛骨神経、総腓骨神経を圧迫することで損傷する。
4. 膝関節脱臼中、前方脱臼が最も多い。

【解答】 3

膝関節前方脱臼は、膝関節が過伸展され発生し、完全脱臼になることが多い。脱臼により大腿骨顆部の前面は脛骨上縁と接しているため、後方に押し出された大腿骨遠位端部により総腓骨神経は圧迫を受ける。この神経は足関節の腓骨筋群や伸筋群を支配しているため、足関節の背屈力が低下する。また、膝窩動脈も圧迫を受けるため、この動脈の枝である足背動脈の拍動は消失する。

【解答】 2